

# 兵庫県保険医協会第76回評議員会のご案内 (臨時(決算)総会・第32回共済制度委員会)

協会はこの半年、診療報酬改定対策、医療改善や、会員の身近な要求に応える活動など、様々な活動を行ってきました。前半期の活動を振り返り、後半期の活動方針を協議するため、標記の会議を開催致します。お繰り合わせの上ご出席いただくようご案内いたします。

■日時 **11月15日(日)13時**～／ ■会場 **兵庫県保険医協会会議室**  
・13時～ 第76回評議員会  
・14時35分～ 臨時(決算)総会

## 14時55分～ 第32回共済制度委員会 「金融情勢の行方と生保業界の経営戦略(仮)」

三井生命保険株式会社常務執行役員 **鶴岡 重幸氏**

グローバル展開する金融業界をサブプライム問題が奈落の底に突き落とし、1年経った現在もいまだ傷の癒えない状況です。国内生保業界も大和生命を除けば直接の打撃は免れたものの、ほとんどが昨年度末赤字決算となりました。「保険医年金」の幹事会社である三井生命は、この難局にどう立ち向かっていくのか、また、日本最大の私的年金として成長してきた「保険医年金」をどう位置付けていくのか、担当常務に聞きます。会場からも直接ご質問ください。

## 16時～ 特別講演 「消費税は0%にできる」 負担を減らして社会保障を充実させる経済学

日本金融財政研究所所長 **菊池 英博氏**



きくち ひでひろ 1936年生まれ。東京大学卒業、旧東京銀行(三菱東京UFJ銀行)入行。国際融資の企画と推進、銀行経営に従事。ミラノ支店長、豪州東京銀行頭取などを歴任。文京学院大学教授、日本経済財政研究所所長。

サブプライムローンに端を発した金融危機が世界を席卷する中、民主党を中心とする政権が誕生しました。新政権は医師数をOECD平均並にしたり、医療費の総枠もOECD平均並にするという政策を発表しています。しかし、一方で財源をどうするのかという厳しい批判にさらされています。この批判の背景には財政規律の呪縛があります。講師の菊池先生は、財政赤字論について「政府と新聞のマインドコントロールであり、実態とはまったくかけ離れている」と指摘。国会でも参考人として「積極的な減税や投資で景気回復を図るべき」と主張しています。バーナンキFRB議長など、アメリカ金融当局高官とも親交ある国際的エコノミストを講師に迎える講演会です。是非ともご参加ください。

返信 FAX 078-393-1802

■第76回評議員会・臨時(決算)総会・第32回共済制度委員会

出席します  欠席します

■懇親会(18時～、会費不要) 龍郷(南京町)

参加します(お席の準備の都合上、事前の申し込みをお願いします)

地区 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

# 追悼 西山茂先生を偲んで

明石支部支部長 吉岡 巖



西山 茂先生(享年80歳)

1929年7月2日生まれ。53年神戸医大卒、57年大阪で開業。理事 70年6月～85年5月、97年6月～99年5月  
副理事長 85年6月～95年5月  
副議長 95年6月～97年5月  
顧問 99年6月～  
明石支部副支部長 84年4月～86年3月、95年4月～98年7月

兵庫県保険医協会顧問で明石支部でも顧問を務めておられた西山茂先生が、9月12日にご逝去されました。先生は1953年に神戸医大をご卒業になった後、臨床外科学を研鑽され、63年、現在の西山クリニクがある明石市朝霧にご開業になりました。70年6月から保険医協会理事、85年から副理事長として協会活動の先頭

に立って活躍され、95年からは副議長、99年には協会顧問として生涯を通じて、医療運動に関わってこられました。明石地区においても、73年の地区世話人会発足にご尽力され、その後の厳しい時代を地道に活動され、84年の支部発足にこぎつけられました。多忙な県協会のお仕事の中で、95年までは支部幹事、95年から98年は副支部長として支部活動を

推進してこられ、体調を崩されてからも、ご子息の裕康先生を通じて支部活動を精神的に支えていただいております。先生に初めてお会いしたのは、小生が開院数年後に先輩のすすめで保険医運動に参加した時で、それ以来「県や地区」の活動を一緒にさせていただいてきました。臨床医としての経験、地域における開業医のあり方を語り合い、多く

のことを教えていただきましたし、3人のご子息を立派な臨床医にされたこと、多くのお孫さんに囲まれ老後を過ごされていたことなどは、小生の生き方に大きな影響を受けました。先生は、地域の人人々に認められた臨床医として、立派な家庭人として、そして社会に目を向け医療運動に深く関わった医療人として保団連の「開業医宣言」を実践されたことは、今後も協会活動の中で語り継がれるでしょう。先生はもう遠いところに行ってしまったかもしれませんが、先生を敬愛した一人として心から深い悲しみを覚えるとともに、先生のご遺志を生かして医療運動を続けていく所存です。どうか安らかにお休みください。

## 審査・指導相談日

●11月12日(木)14時～

●協会5階会議室

※医科は事前予約制 ☎078-393-1803まで 歯科は随時 ☎078-393-1809まで

※「指導通知」が届いたら、まず保険医協会にご連絡ください。

※『月刊保団連』同封の「保険審査相談用紙」をご利用ください。



## 明石公園まつり



丹家医院  
丹家 聖仁

## 第26回支部総会

# 新型インフルに備えを!



講師の松本圭司先生(上)と  
小島修司副支部長(下)

支部は9月26日に、第26回総会を開催した。恒例の市民公開記念企画は、明石健康福祉事務所(明石保健所)所長の松本圭司先生を講師に「新型インフルエンザ―現状と対策―」と題した講演

会とともに、小島修司副支部長(協会副理事長)による講演「どうなる日本の医療」を行った。市民ら37人が参加した。松本先生は、マスクの付け方を実演するなど、市民にできる予防法を

実践的に講演した。小島先生は、医師不足問題や自治体病院の統廃合の解決に向けたこれまでの協会の取り組みを市民に紹介するとともに、民主党政権の医療政策について「良いことはどんな応援を。悪いことはきっぱり反対を」と市民に呼びかけた。

参加した市民からは、「季節型インフルエンザに比べて未知の内容が多く、不安を感じるが今回の話を聞いて、極力自己防衛の意識を強く持つことが大切だと感じた」などの感想が寄せられた。

総会議事では、今後の支部活動について協会ならではの会員の役に立つ研究会を実施することや、引き続き後期高齢者医療制度の廃止に向けて運動をすすめることなどが確認された。

## 秋の共済制度普及 好評受付中!

● 団体定期生命保険 ●

<毎月10日締切> (翌々月1日発足)

# グループ保険

新規・増額  
受付中

昨年度配当は46% 過去15年連続配当!

- 団体保険だから断然安い保険料 (35歳男性5000万円保障で5050円)
- 最高5000万円の高額保障 ■ 配偶者1000万円のセット加入あり
- ライフプランに合わせていつでも増額・減額できます
- 保険金額に関わりなく、面倒な医師による診査はありません

保険医年金も受付中

10月25日締切 (1月1日発足)

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

☆協会ホームページ・明石支部→ <http://www.hhk.jp/sibu/akasi/akasi.htm> もぜひごらんください。

兵庫 庫医 協会  
保 險 医 協 会



No. 238

2009・10・25

投稿歓迎!

兵庫県保険医協会明石支部

支部長 吉岡 巖  
神戸市中央区海岸通一丁目二番三十一号  
神戸フコク生命海岸通ビル五階

TEL 078-393-1801(代)  
FAX 078-393-1802